



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 961 回(9 月 3 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想
第 2 副 S A A 奥富君、小澤君
ビジター 骨髄移植推進財団設立 20 周年キャンペーン
「友情」埼玉入間上演実行委員会
長倉様

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	28 名	78.13%	90.63%

会長の時間

栗原(憲)会長

「高林謙三翁の生涯」について

1. 生涯の概略

謙三翁は、天保 3 年 (1832)4 月 25 日、武蔵国(埼玉県)高麗郡平澤村、農業小久保忠吾、キクの長男、健二郎として生まれ、幼名を捨次郎ともいい、4 歳年下に弟衡平がいた。



小久保氏は何代も続いた家系の良い家筋の出なので、忠吾もキクも根っからの百姓とはいっても、おのずから格式を持ったところがあって、資産などなく困窮な暮らしではあったが、当時の百姓としては珍しく頭脳もあり文字も読めた。健二郎、衡平共頭脳は人一倍すぐれ学問が好きであった。

両親は二人の子供の将来について深く考え、百姓では大きくなるめどはない。志を立てさせて、何か傑出した人間にすることはできないかと常に思っていた。健二郎も成長するに連れ、無資産では何事もできないとさとり親子の意見が一致し、兄弟揃って医を修業することになった。時に健二郎 16 歳、衡平 12 歳であった。

初め皇国医法を学び、引続き西洋医学特に外科医術を習得して、郷に帰り医院を開業した。同時に妻濱子を迎え、医業に専念して大いに繁盛し相当な家産をなした。そこで平澤村の両親を引き取

り孝養を尽くしたが、母キクは明治 7 年他界し、父忠吾は明治 21 年 8 月 9 日 92 歳でこの世を去った。

明治元年(1868)健二郎 37 歳の時、姓を小久保から高林へ、名を健二郎から謙三に改めた。明治 8 年翁 44 歳の時、西洋医の名声も高く、男盛りで人生花の時代、桶川町の旅館布屋の娘リエ(20 歳)を知り、子供を産ませ、妻濱子の強い希望で、長女秀子として引取り育てた。

明治 2 年から 3 年にかけて、付近の山林四町歩を求め開墾し、茶の生産を始めたが、手揉製茶の生産性の低さを知り、製茶機械の発明の必要を痛感した。明治 11 年より発明の構想に入ったが、13 年には肺を患い病苦と闘いながら、明治 14 年その実行に移り、明治 18 年に生茶葉蒸器、焙茶器、製茶摩擦器械の発明を終わり特許を申請、専売特許 2 号、3 号、4 号を得た。

翁はこれに満足せず、茶の生命は香りと味と色にある。これを少しも損することなくして、多量に製造し得る製茶機械の発明こそ人生の使命であると、一層発奮し明治 19 年医も廃し機械の改良発明に専念した。明治 22 年には経済的苦況から、20 年間手しおにかけて育てた茶園も担保に入れ、遂には人手に渡すことになった。

明治 25 年隣家の出火のために類焼し、家財はもちろん制作中の機械も総て焼失したが、翌 26 年には、農商務省農務局の計らいで、東京染井の藤堂家屋敷内に移り住み、病軀と生活苦と闘いながら、茶葉粗揉機の考案に心魂をかたむけ、遂に完成、翁 67 歳の時明治 31 年 4 月 4 日特許を申請、同年 12 月 22 日付を以って専売特許証第 3301 号を得た。

この茶葉粗揉機こそ、翁が熱血の結晶ともいふべきもので、我が国緑茶製造に一革新紀元をもたらした大発明といふべきものであった。

明治 32 年 2 月この機械の製作並に販売の特許を、静岡県小笠郡南山村松下幸作氏と結び、松下幸作氏は静岡県掛川町に松下工場を創立、これにともない翁一家も掛川に移り住み、明治 35 年 4 月 1 日明け方、翁 70 年の生涯を閉じ永眠された。

かれておりました。こうして、トルコは日本人を非常に重く感じているということです。そして 5 頁の始めに、「95 年後の恩返し」とあります。これはイラン・イラク戦争の時に、サダム・フセイン大統領がイラン上空を飛ぶ飛行機は、民間機であってもすべて撃ち落とすということを発表致しました。日本人もトルコにおりましたが、助けに行くにも日本の飛行機は民間機ですので飛ばせないということ、そして自衛隊の飛行機も定期的に無理でした。それをトルコの旅客機 2 機で日本人を救出に来てくれたということが書かれておりました。是非皆さん、こちらはもれなく読んで頂きたいと思います。

「会員卓話」・・・・・・・・

《イニシエーション・スピーチ》

坂本松男会員（2013.5.7 入会）

皆さんこんにちは

この夏は非常に暑かったですね。特に関東地方は梅雨明けも過去 3 番目に早い 7 月 10 日に明け、四国の四万十市西土佐では、6 年前の熊谷市等で記録した 40.9 を上回る 41 を記録する暑さとなり、山陰北陸地方等では、ゲリラ豪雨による激震災害に指定されるほどの、被害が多く発生したり、本当に異常な気象状況でありましたが、9 月に入って昨日台風 17 号が発生し、梅雨前線を刺激し、広範囲での雨による注意が必要とする予報が報道されていますが、被害が出ないことを望みたいです。



さて、今日はイニシエーション・スピーチということで、先月の第 1 例会のときに、益子プログラム委員長から書面で依頼がありましたので、15 分ほどですが皆様の貴重な時間をお借りして話をさせていただきますが、ここ数年、公の場で話をする機会がありませんでしたので、お聞き苦しくご迷惑を多々お掛けすると思いますが、自己紹介を含め幼少期のころ、仕事のこと等、四つの分野に分けて、予め原稿を書きましたので、自画自賛をしながら話をさせていただきます。

まずは、この程の再入会に際しましては、平素よりご尊敬を申し上げております、寶積先生には多大なるご配慮とご推薦を頂き、さらに、皆様方のご理解によって再びお世話になれることになりましたことを感謝申し上げます。それでは、幼少期の話をしてみたいと思います。

生まれは昭和 20 年 3 月 22 日に、狭山市のお隣の川越市今福というところで農家の 3 人兄弟の次男坊として生まれました。子供のころは、今のようなテレビやゲームの遊び道具も無く、遠くに遊びに出かける事も無く、裏山で木登りをし

たり枯れ枝等を拾って焚き火をしたり、大した遊びも無く大半は両親や家族の農家の仕事をしながら手伝ったりして過しました。その中で特に夏野菜のなす・きゅうり・トマト等を市場に出荷していましたが、そのなす・きゅうり・トマト等の苗木の生産販売を、所沢市の金山町の道路端で毎年 5 月の時期になると、露天販売もしており、中学生の頃は、その売り子の手伝いもした経験もあり、その苗木を販売できるまでには、前年の秋から冬にかけ木々の枯葉等を集めて腐葉土を作るとき、専門的になりますが、檜の木葉だけでは軽すぎるので、松の枯葉も混ぜ合わせることによって、力のある腐葉土ができ、苗木の種は交配物の種を蒔き、発芽の成長に合わせて移植を繰り返し、いわゆる、手間をかけることによって、根っこが張ったしっかりした、手抜きのない苗木を作っていた親父の後姿を見て育って来ました。

学歴的には、私の卒業した福原中学校では、その当時高校に進学するものは 3 割りぐらいであり、私は、勉強も好きではありませんでしたので、東京都大泉学園の近くの露出計のメーカーであります「セコニック」という会社に、中卒で入社しました。その会社での仕事は、今で言う半導体のシリコンの研磨作業を、研究室の付属部門として行ってまいりましたが、入社をして一年半位が経った頃、部下も 10 人ほどになり、増産体制に入るころ会社組織の中では、班長とか係長とかいう役職がありましたが、中学卒では班長にもなれない、学歴社会がありまして、そのときにやはり高校位は出ていないと駄目なのかと思い、その会社を退職する決意を致しました。その時、工場長が自宅まで留意に来てくれましたが、それも断りこれからは車社会になると思い、夜間の定時制に 4 年間行くことを決め、県立川越工業高校の機械化に 2 年遅れで入学しました。昼間は会社勤め、夜は学校という、二足の草鞋を履きながらの生活でした。学校では、担任の先生は私が電車のレールに例えて言うと、何回も脱線しそうになると、職員室に呼ばれ人生の在り方等を含め、いろいろな世間話を、夜にも拘らず分かりやすく話をして指導をして下さいました。その先生も、15 年ほど前に他界去れましたが、いまでも恩師として尊敬しているところでもあります。昼間の勤めの方ですが、17 歳の頃、ホンダ技研の鈴鹿工場ですーパーカブの組み立を正社員として 100 日間程働かせて頂きました。その後、半導体メーカーの「サンケン電気」に勤めたとき、仕事とは別に若人の会を立ち上げ、軽井沢の千が滝にありますスケートセンターに、観光バス 2 台分の参加者を集めたり、また都内の板橋区にある滝野川公会堂ホールで、知り合いのエレキバンドやハワイアンバンドを呼んでパーティー券を販売し、ダンスパーティーを開催する興行を行ったり、今考えると 50 年前の 17 ~ 18 歳の頃に、ぞっとするようなやばいことをしていたんだと思いました。

いろいろな会社で働きましたが、19歳の頃にガソリンスタンドを開業しようと思いプロパンガスを小売販売をしている、燃料屋の店主から俺の燃料店に来ないかと声が掛かり、今の女房とも結婚していた為、一日でも早く独立できる仕事かと思いいその店に勤め、6ヶ月間の実務経験の必要な、高圧ガス取扱主任者の免許の資格も得ないと出来ない販売業種でもありましたので、働きながら資格を得るまで修行をしていた頃は、店主は当たり前かもしれませんが、冬は暖かい居間、夏は涼しい居間で食事をし、私は、炭・蒔き・練炭そしてプロパンガスを取り扱っている店ですので、冬も夏も関係なく吹きさらしの納屋で、蒔きの束を椅子の代わりに座り、蒔きの束をテーブル代わりにして昼飯を食べた事もありました。そうしている間に、運良く資格試験にも合格し、さらに多くの経験を積もうと思いい、実家の近くに出光興産系列のガソリンスタンドがありまして、そこで、狭山工業団地と隣接しているところに、出光興産プロパンガス特約店の白石石油を紹介され、給料なしで約半年間勉強させて頂いて、昭和42年11月27日に生まれ育った川越市今福で、親父の土地150坪を貰い、「川越ガス」という社名を付け開業致しました。数えてみると、中学を卒業して、最初に務めたセコニックの会社から14番目にして、自分のやりたかった本業を持つことができ、子どもの頃から、親父の後姿から学んだこと、そして、数多くの会社に迷惑を掛けながらも学んできた経験と社会の中から教わった道徳、そして夜間の定時制高校で教え育んでくれた、恩師の先生を始めとし、多くの人々からの教訓をもとに、商売のモットーは「当たり前のことを 当たり前 に 確実に 手抜き無く 行うこと」を心に決め、プロパンガスの販売をスタート致しました。特に力を入れたのが、安全第一という事に法律にも定められております、保安点検を徹底的に行って参りました。ガスの仕入れもお世話になった白石石油から行い、その中でメーカーの出光興産が、保安点検を「緑の点検」と称して、キャンペーンを行っており、そのとき「日本中ではよこばれています」という、パンフレットの作成に当たり、当社がモデルに採用され、当社も成績優秀で表彰を受けました。さらに、集金業務については出光クレジットセンターと提携して、自動振替システムの導入を行い、振替率は95%まで達成したこともありました。お客様の増加、販売料等業務の多様化に伴って、社員数も増えてまいり雇用環境の充実等も考え、修行時に味わった蒔きに座り、蒔きの上で食べた冷遇の経験から、事務所は床暖房、冷房の設備、トイレは水洗、昼食は給食センターから(費用は全額補助)、週休二日制も開業から4年が経過した昭和46年から導入を図り、業務内容の充実と共に、システムの内容が評価されプロパン新聞等多くの業界紙で取り上げられることによって、私を始め社員もより一層誇りと自

信を持って業務に励むことによってさらに業績も上がり、給与も同業他社よりも多くお陰様でより一層レベルの高い人材を雇用することが出来ました。ただ、ガスの計画配送、集金業務の自動振替システム等合理化だけでは、お客様との繋がりも希薄になってしまいますので、「快適生活応援隊」というキャッチコピーを考え、例えば、蛍光灯等の電球が切れそうになるとチカチカしますよね、また水道の蛇口の水漏れによるポタポタ等のことなどを、気楽にお声掛けをしてもらえよう、双方が互いに信頼を得られるような気配りをして来ました。その販売方法は近江商人の、商売の真髄でもあります、バランスの取れた商人の気質である、別の言い方で言いますと、天秤の詩というビデオテープでも紹介されており、私はこのテープを見るたびに、同じような苦勞をした者として目頭が熱くなったことを思い出します。このテープは、私の宝物で今でも大切に金庫に保管しております。紆余曲折等多々ありましたが、開業以来32年間、おおむね順調に平成10年末日までお客様を始めメーカーの方、地域の皆様と共に社員の協力も得ながら、一軒の事故も無く大過なく営業して参りましたが、後継者問題等を考えた時に、M & Aを以って経営から身を引くことといたしました。

次に、市議会議員を経験したことに少し触れたいと思います。

昭和55年に狭山台に越してきました。二人の息子たちが狭山台中学校に在籍した関係で、PTAの会長を2年間させて頂いているとき、狭山市議会議員の選挙がありまして、PTAの方や、地域からの推薦とご支援を頂き、昭和58年から62年の4年間、市議会議員という特別職を経験させて頂きましたが、特別職の報酬も市民の皆様の尊い税金で賄われていて、いわゆる血税でございますので、私の特別職に掲げたモットーは、イギリスの偉大な詩人でありました、マックスウエーヴァーさんの言われた「不可能な事を成し遂げる 努力をしなければ 可能なことは 実現できない」という言葉を胸に、例えば、一般質問等に於いては、現地視察を私費で足を運び、関係先の担当者等々から聞き取りを十分に、研究と勉強とさらに、理解をしてから質問を行って来ました。一般質問を振り返ってみますと、教育問題として小中学校でのコンピューター授業の導入の件で、都内の渋谷区にあります、広尾中学校で行われた公開授業を視察して参りました。また、市内商店街の活性化問題として、岐阜県中津川商工会議所で導入してありました、共通商品券について、導入から成果に至るまでを、会議所担当者からお聞きし勉強して参りました。都市開発問題、狭山市駅周辺の基盤整備については、厚木市の本厚木駅周辺市街地の視察と、行政担当者からの聞き取りも行いました。さらに、狭山台終末処理場跡地利用問題で、社会体育の場としての活用の一考も促

して参りました。狭山台バス路線の件では、電車の始発・終電の時刻に合わせた運行がなされるよう要請をして参りました。その他 数多くの質問もさせて頂きましたが、一般質問をしてから30年余りが経過すると、時代の発展と共に、不可能とされていたことも、大半の事案が実現致しました。四年間の多くの体験は、何事にも変えがたいことであり、私の人生を形成していく上でも貴重な時間となりました。

そして現在は、一日も長く快適な生活を送るために、朝起きると梅干と狭山茶を飲み、散歩をしてから、朝食は、生野菜を中心に、バランスも考え合わせ美味しく食べております。日中は 趣味のゴルフ等をしたり、午後3時を過ぎると28年ほど前から通い続けている、スポーツクラブに行き、ストレッチを中心に筋力トレーニング、水中ウォーキングをしたり、仕上げにサウナやお風呂で汗をかいて気分爽快で家に帰り、まずは冷たく冷えたビール等で晩酌をし、朝食同様、バランスのとれた夕食を食べ、テレビ等を見ながら早めに寝ております。体調もスポーツクラブで体組成分析カルテによる、スタイルウオッチ・メタボウオッチ・体組成ウオッチのデータから、現在のフィットネススコアで見ると、標準を上回るスポーツ選手の基準に近い81ポイントという運動の成果が十分に出ていることと、さらに、基礎代謝量に於いては、年齢標準値の1350キロカロリーに対し、私の値は1580キロカロリーと大きく上回っております。分かりやすく表現いたしますと、寝ていてもカロリー消費しているということでもあります。また、健康面に於いても先般、竇積先生にCTと血液検査等の検査をして頂きましたが、特に異常も無く健康であるという評価を頂きましたが、まだ頭の方は検査しておりませんので、竇積先生の大病院では、超最新式のMRIの機械が6月下旬から稼働しているということでもありますので、頭の検査もしてみたいと思っています。健康とは言え、私も68歳という年齢のため、数年間の在籍となるかと思いますが、当クラブのルールを厳守し、皆様方のご指導を頂きながら、楽しい有意義なクラブライフを送っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



小室昭男会員（2013.5.7入会）

1958年2月20日、茨城県の北茨城で次男として生まれました。とにかく勉強が嫌いで、父親には学校に行けと言われておりましたが、全く学校に行かず、得意な科目は体育、他はほとんど勉強致しませんでした。しかし進学はしなければならなかったため、自分の好きなことをやりたいということで、手に職をつけるということが大前提に、工業高校へ入りました。



工業高校へ入り、父親の後を継ごうと思っていたのですが、父親に命令されながら仕事をするのが嫌で、家を勝手に飛出し、一人で東京に出てきました。その時に何をしようか分からなかったため、知人に頼み「板前」の修業を始めました。板前の修業をしておりましたが、魚の油で手に湿疹ができてしまう病気になり、板前は諦めましたが、2年間修行をした中で、自分にとってプラスになることもありました。

次に何をしようかと考え、何か職人の仕事をしたいということも元々ありましたので、生き物がダメならば機械をやってみよう、SHARPのメンテナンスをする会社に就職致しました。しかしその時の直属の上司と全く馬が合わず、1年で退社を致しました。その時に可愛がってくれていた先輩に、今後について、命令をされて仕事することが嫌いなのだと相談をしていたところ、命令されることが嫌であれば社長になれと言われ、20歳の時にメンテナンスの会社をしようと独立致しました。

しかし独立しても20歳ですので、誰も仕事をくれず、路頭に迷っているような状態だったのですが、先ほどの先輩が、一生懸命だからと仕事をくれました。その頂いた仕事が、昔あった富士銀行の「ホームバンキングシステム」という、家にいながら買い物ができたり、貯金通帳の中のお金を動かしたりというシステムを作り、それを作った結果、日本全国の富士銀行の仕事を頂けるようになりました。それが約5年間位続き、その5年間はもの凄い売り上げで、良い思い出でしたが、その後富士銀行と第一勧業銀行が合併し、みずほ銀行になり、みずほ銀行になった時点で、私の作ったホームバンキングシステムが全く使えなくなり、ある意味廃業という形になりました。システムを作るために先行投資を致しましたので、残ったのは借金だけだったのですが、次に何をしようかと考え、バカなのか無鉄砲なのか分かりませんが、最初に務めたSHARPに、自分はこれだけの仕事ができるので下請けにしてくれと、飛び込みセールスを致しました。しかしSHARPとしてみれば、会社に三下り半を下して辞めていった人間に仕事を出すはずもなく、追い出されました

が、その時もまた先ほどの先輩が、メンテナンスの下請け会社を、SHARP の資本を入れてあげるのやってみればと言ってくれ、挑戦してみました。しかしその仕事も、全く SHARP との折り合いがつかず、3 年前に決別してしまいました。

今現在は、中古品の複合機、コピーやプリンター、FAX のついた機械を販売しようと、鶴ヶ島と所沢に倉庫を借り、機械を作りながらお客様へ提供させて頂いております。しかしお客様によっては新品も欲しいとおっしゃる方もおります。私の所は、株式会社でも有限会社でもありませんので、新品の機械が仕入れられません。そのため、最初にこの世界に入れてくれた先輩にお願いをし、新品の機械も仕入れ、販売をさせて頂いております。

本来営業ではないものですから、とにかく話すことが大の苦手です。機械を前にして、機械と話していることは非常に好きなのですが、大勢の方の前で話すということが、苦手です。今日もどうしようかと思っておりましたが、ジタバタしても仕方がなく、そしてこれだけの先輩方のお話させて頂くことは、もの凄く光栄なことです。

仕事に関して、恐らく町であっても会社に訪問をしても、その社長さん達に会うことはまず不可能だと思う中で、今年 5 月に中谷さんからロータリーに誘って頂きました。しかしやはり一般的に、ロータリークラブというのは、手も届かないような所にある組織だと認識しておりましたので、最初は時間もないし、敷居が高いので申し訳ないけれども、入会をお断りさせて頂きました。しかし私には、ペルーに行って小学校を作ったり等、あるボランティアをしている知人がおりました、今現在は日本国内で畑を借り、そこで出来た作物を貧しい人たちに無料で配ったりしておりますが、10 年前から、行動は共にできないのですが、その人のペルーへ行く時の資金や日本で畑を借りる時の費用等、少しですが寄付させて頂いております。そうした流れもあり、このロータリークラブという奉仕の精神を持った団体が、自分の考えにもあっているのかと思い、改めて電話で中谷さんからお話を頂いた時に、是非入会させて頂きたいとお話させて頂きました。

まだ慣れない部分があり、例会に来ましても、何を話せば良いのかわからないといこともあります。今後、例会にどんどん参加させて頂き、皆様と色々コミュニケーションを取り、そして自分の立場をわきまえながら、頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



ニコニコボックス



防災の日

坂本君 今日皆様のご貴重なお時間をお借りして、イニシエーション・スピーチをさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

若松君 先月は欠席ばかりで申し訳ありませんでした。仕事をしてました。

会員誕生祝 松浦君

夫人誕生祝 江原君 中谷君

結婚記念日 稲見君 松浦君

お知らせ！！

親睦活動委員会

家族同伴親睦旅行を

11月12日(火)～13(水)、群馬県

四万温泉を予定しております。

会員・ご家族、多数のご参加を

お願い致します。

社会奉仕委員会

フリーマーケットへの品物の

ご協力をお願い致します。

次の例会

第2副SAA 柴田君 高岸君

9月17日(火) 12:30～13:30

外来卓話

パストガバナー 石川嘉彦様

(入間RC)